

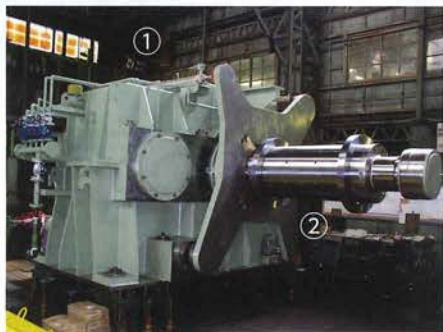
わが社のイチ押し ものづくり北九州企業データベース

鋼板巻き取り機のトップメーカー

(株)植田製作所

我が社の特長はテンションリール製造において、設計から加工・組み立て・検査までの全ての工程を当社で一貫して製造できることです。当社はテンションリールの国内随一のシェアを占めています。

製鉄所での加工法は様々なものがあり、鉄板、リール、鋼管などの鉄鋼製品は「圧



鋼片を薄く延ばすには欠かせない装置、テンションリール (①)。②はリールドラム

延」により作られています。圧延には加熱された鋼片を上下のロールで挟んで押し伸ばし、最小1・2ミリまで薄くする「熱間圧延」と、その圧延された鋼板を常温で上下のロールで挟んでさらに薄くする「冷間圧延」の2種類があります。冷間圧延には両端で鋼板を巻き取ったり、巻き戻したりする装置が必要で、この装置が当社の製品「テンションリール(ペイオフリール)」です。巻き取り(巻き戻し)のイメージはビデオテープのようで、二つの装置で対をなします。その巻き取り(巻き戻し)芯をリールドラムと呼び、芯は圧延完了後のコイルを抜き取れるよう、径を小さくできる特殊な構造です。

鋼板を強い力で安定して巻き取るには当社伝統の減速装置が生かされており、歯車の組み合わせにより1平方ミリメートルあたり5〜35キログラム、全体では50トンに達するほどの引っ張り合っ力を発揮します。

「リールといえば植田製作所」と呼ばれ

るよう、引き続き品質や信頼性の維持向上に努め、お客様の満足度を高められるオンリーワン企業を目指します。

(株)植田製作所

(若松区北湊町4の1)

TEL・761・1431

濱小路兼生 代表取締役

1946年、(株)植田歯輪工場として歯車製作の専門工場を設立。1950年に自社製歯車を使った減速機を生産したことをきっかけに部品メーカーから装置メーカーに発展。1959年に現在の社名となった。減速機技術を生かし、付加価値が高いテンションリールやドラムの製造で国内随一のシェアを誇る。

「ものづくり北九州企業データベース」は北九州の元気企業が一目でわかるサイトです

北九州 機械金属

検索

(<http://net.kitakyushucci.or.jp/mono-db/>)

